

3月31日（火）最終日

新聞には教職員の**人事異動**が載りました。本校で本年度勤めて下さった20人近くの方がこの日を最後に、扇小を去っていくこととなりました。玄関を後にする異動者を、皆で見送ります。毎年この日は、とっても**寂しい**気持ちにもなり、翌日からの準備の**あわただしさ**もあり、複雑な気持ちになります。お世話になった先生方、ありがとうございました。



3月30日（月）再会

気持ちの良い天気だったので、久しぶりに池の近くまで行ってみました。「**カメ**はまだ冬眠から覚めないのかな」などと思いながら近づくと、ふちに一人出ている、**出迎え**てくれました。池の中を確認すると、二人は泳いでいます。まだ一人は冬眠しているのかもしれませんが。久しぶりの再会。元気に**冬を越して**くれました。新年度、今年も扇っ子を見守ってくれそうです。



3月29日（日）写真

朝、近所で満開の桜越しの日の出を見ました。縁起がよいので、写真を撮りました。近くの小学校では、**校門**の前で写真撮影をしている家族を見ました。四月に入学するであろう子が、大きな**ランドセル**を背負っています。そのバックにも満開の桜がありました。入学式の日には、散ってしまっているかもしれない桜の、はかなさを感じずにはられませんでした。



3月28日（土）桜

午前中は校長室にこもって仕事。学校を後にするときに、体育館横に咲いている**桜**に気づきました。満開に近づ



いてきているようです。久しぶりに明るい時間に帰宅できたので、車窓から**満開**の桜をたくさん見ることができました。やることはたくさんあり、異動していく職員もいて寂しいのですが、桜はそんな気持ちも**癒**してくれます。

3月27日（金）春休み

本日から子供たちは春休み。私たち教職員は校内の整備・片付けや、次年度の準備などなど。教職員にとっては、春休みはほぼ休めません。あっという間に新年度がやってくるからです。午後から、転入職員との**面談**も始めました。皆よい人ばかり。扇小学校のことを気に入ってくれそうです。すぐーるには春休みの**楽しい計画**についての報告が次々に届いています。



3月26日（木）修了・修了証・別れ

令和7年度の修了式。本日で本年度の教育課程を**すべて修了**しました。私は式の言葉として、次のような話をしました。「今年、**失敗**したり、先生に叱られたことを振り返りましょう。その分、皆さんは**成長**した。学年が上がったら、今以上に失敗をしましょう」。奇しくも、児童代表で話をしてくれた子も、同じような話をしてくれました。「扇小を**もっと挑戦**できる場所にしたいです。失敗しても友達が手を差し伸べてくれます。たくさん挑戦しましょう」と。扇小の挑戦は、まだまだ続きそうです。

学年代表の子には、私から**修了証**を手渡しました。他の子は、**担任から**一人ひとりに手渡されました。三学期の成績についても記載されていますので、担任が頑張ったことや伸びたことを伝えました。どの子も先生の話をついじりと聴き、受け取った通知票（修了証）をしばらく笑顔で見せていました。「算数がよくなった！」「よいが増えた」などと、私に**自慢**してくれる子もいました。

多くのクラスで、修了証以外のものを担任から手渡さ



れたようです。一人ひとりにあてた手紙や、写真、賞状などなど、担任の思いが込められた最後の贈り物です。あるクラスでは、数人が涙を流しながらそれを見ていました。近くの子に「泣いちゃだめだよ」と励まされる子もいました。この教室で、この仲間と過ごす時間があと少しだと分かっているのでしょう。修了はお別れも意味するのです。



3月25日（水）レク・成長・掃除

各クラスでお別れ会を兼ねたお楽しみ会が行われていました。実行委員の子が計画したレクを楽しそうに、そして愛おしい時間となるように取り組んでいました。レクの内容も年々変わってきていると感じます。椅子取りゲームやフルーツバスケットは、この日は見ませんでした。TVやPCを使っのレクが半数を占めていました。



あるクラスでは、一人ひとりが前に出て一年間で一番がんばったことを発表していました。「冬休み毎日練習して、鉄棒の技ができた」「幕張のステージに立つために、毎日練習した」「算数では、筆算と暗算が得意になった」「二重跳びができるようになった・・・」などなど、それを聴いていた子たちも暖かい拍手を送っていました。素敵な時間、幸せな気持ちになりました。



大掃除に取り組んでいるクラスもたくさん見ました。ある教室に行くと、たくさんの子が廊下や靴箱の掃除をしていて、教室には少数です。ふと見ると、ロッカーから服が出ています。室内がきれいになっているので、とても気になりました。しかしそれは服ではなく、子供でした。ロッカーの中に顔を突っ込んで、雑巾でふいていたのです。水中から出てきた時のように、ロッカーから「ふーっ」と息を吐いて出てきた子に「ご苦労様、ありがとう」と、声をかけさせてもらいました。



3月24日（火）卒業証書授与式

扇小学校第51回卒業証書授与式を行いました。今年は、136人の六年生が巣立っていきました。とても立派な態度でした。証書授与も別れの言葉も、すばらしかったと思います。300人を越える保護者の方々、多くのご来賓の方々にも見守られて、扇小学校での小学校の課程をすべて修了いたしました。

式が終了した後も、集合写真を撮ったり、校庭に出ても写真を撮り合ったりと、名残り惜しい時間が二時間以上続きました。小学校最後の日がこのように、なかなか終わらない、終わりたくない時間になるのは、子供たちも職員も全力で取り組んだ証だと、思います。

ご卒業、おめでとうございます。」



3月23日（月）門出式・お礼・準備

本年度、最後の全校児童登校日となりました。在校生は六年生とはお別れです。六年生の下校に合わせて、1～5年生が見送りました。司会進行は四年生、児童代表の言葉は五年生、すばらしかったです。卒業生代表の子が「進級したら、もっともっと扇小を輝かせてください」と話してくれました。人の列を通り過ぎて、六年生はいつまでも在校生に手を振っていました。「さようなら」です。

休み時間に、一人の六年生が放送室にやってきました。一年間のお礼を言いたいというのです。ある委員会の委員長さんです。いろんな取材をさせてもらったり、発信を読んでもらったりしたことのお礼を全校に向けて言いたかったというのです。短い言葉でしたが、心がこもっていました。そして最後には、「来年度も〇〇委員会では委員を募集しているので、興味がある人は入ってください」と、ちゃっかり勧誘の言葉もありました。

3時間目は、五年生が翌日に控えた卒業証書授与式の



ための準備をしてくださいました。体育館の内外の掃除、六年生や保護者が使うであろう教室や廊下の掃除などなど、一時間しっかり取り組んでくださいました。「卒業していく六年生に、きれいな会場で式にのぞんでもらいたい」と話してくれた子もいます。在校生の思いが詰まった会場で、六年生も立派な姿を見せてくれることでしょう。



3月22日（日）式辞

本日は卒業証書授与式で話す式辞を完成させました。何度読んでも納得するものができるません。六年生の活躍も話したい、今後の指針も話したい、保護者のお礼はこれだけでよいのか、最後に言っておきたいことは他にないか、などなど。時より、HPにも載せた「会談」での様子を見て、六年生の声を思い出しました。式は明後日。まずは、体調万全で、よい声を出したいです。

令和7年度校長と卒業生の会談・6

○卒業を控えた、今の気持ちや様子は？

- ①「久しぶり！久しぶり！久しぶり！久しぶり！」
- ②「卒業証書授与式、早く！早く！早く！早く！」
- ③「卒業証書授与式、早く！早く！早く！早く！」
- ④「卒業証書授与式、早く！早く！早く！早く！」
- ⑤「卒業証書授与式、早く！早く！早く！早く！」
- ⑥「卒業証書授与式、早く！早く！早く！早く！」
- ⑦「卒業証書授与式、早く！早く！早く！早く！」
- ⑧「卒業証書授与式、早く！早く！早く！早く！」
- ⑨「卒業証書授与式、早く！早く！早く！早く！」
- ⑩「卒業証書授与式、早く！早く！早く！早く！」

3月21日（土）墓参り

午前中は本日も校長室。午後、お墓参りに行きました。お墓で眠っている人には、例年と同じことを報告してきました。「今年も無事に一年が終わりそうです」「〇人が、立派に卒業していきます」「私もまだまだ元気です」と。とっても良い天気でしたので、天国ではご機嫌でいるのだと思わせてもらいました。



3月20日（金）桜

午前中はずっと校長室。いつもと同じように、今週出来ていないことや、来週の準備等を進めました。卒業式の準備も進めました。夕方出かけた先で、満開に近い桜を見つけました。数人がスマホをかざし、写真を撮っています。記念撮影をしている人もいました。東京では開花の宣言が出されました。いろんな場所で、きれいな桜を見ることが、楽しみになってくる時期です。



3月19日（木）アルバム・座席・表彰

下校の巡回から学校に戻ってくると、校長室前に数人の**六年生**がいました。「あ、来た、来た」と喜んでいました。**卒業アルバム**が配布されたので、**サイン**を書いてもらっているとのこと、**気を使って**か「校長先生にも」と思ってくれたようです。簡単なサインをすると、次々に校長室に六年生がやってきました。目的は同じです。50人ほどにサインをさせてもらいましたが、もっと多くの子にお願いされている職員がたくさんいました。

あるクラスで、素敵な場面に出くわしました。**席替え**をしたようなのですが、それは**四月当初の席**。皆で出会った当初を懐かしんでいるのです。「先生はいつも〇〇さんに**話しかけていた**」「〇〇さんは、先生と目が合うと**緊張**していた」などなど。「最初、同じ班だったね」「**なつかしい**ね」など、子供たちも話をし始めました。一年間、一緒に学んだ仲間との日々を医と愛しむような時間でした。

本日は、本年度最後の賞状伝達となりました。**六年生**の中で「**学業**において見本となった子」「**スポーツ運動**で見本となった子」計3名に、賞状を渡しました。さすが六年生、卒業証書同様に、すばらしい態度で受け取ってくれました。これで私が今年度伝達する賞状は**終わり**です。あとは、卒業証書と修了証を渡すのみとなりました。



3月18日（水）予行・制作・教えたい

24日に実施する**卒業証書授与式**の予行を行いました。当日に重要な役割を持つ教職員と**五年生**が参加しました。予行なので、本番と同じように行いました。約**1時間10分**、六年生は立派だったと思います。別れの言葉も歌も、**熱い思い**が伝わってくるものでした。参加した五年生からも「歌がきれいで、**すごかった!**」との感想があったほど。本番は、もっと緊張します。最後の日に、最高の姿を見せてくれると信じています。



おうぎ学級の**六年生**が、校長室にやってきました。卒業制作として、**教室掲示のプレート**を作ってくれたのです。「茶—じルーム」や「生活科室」「英語室」などは、今プレートがかかっていません。「4月から**使ってください**」と、手渡されました。しっかりと板を彫り込んであり、きれいに色も塗られています。きっと時間がかかったはず。学校のために作ってくれた**教室プレート**、大事に使わせてもらいます。

一年生が「新一年生に教えたこと」をワークに書いていました。「勉強は楽しいよ」「**校庭**は広くて、遊具がたくさんあるよ」などなど、小学校のよいところを書いている子が多い中、生活する上での配慮点を書いている子もいました。「やってはいけない**約束**は守ろうね」「テストは何回も**見直す**んだよ」「**トイレ**はあそぶところじゃないよ」「**日直**になると、朝の会をやるんだよ」などなど。その他には「すぐに**保健室**を案内してあげたい」と書いていた子もいました。



3月17日（火）数学・カルタ・落とし物

六年生に毎年授業をさせてもらっていますが、今年も最後となりました。活動の中心はたし算なのですが、**確実に**作業することと「**問い**」を持つことの楽しさを味わってもらいたいと思って臨んでいます。今日は本年度で一番様々な発想、着眼点、発見の声が聞こえました。授業をしていてとても楽しかったです。振り返りにも「**ひき算**でやってみよう」「**30番目**は？」「**個体差**はないのか？」「数の列を**発見**したい」などなど、素敵な「？」がたくさんありました。

二年生の学年レクは、校庭でカルタ取りでした。札は子供たちが作った大きなもの。その札は、校庭にばらまかれるやいなや、風で**遠く**に逃げて行ってしまいました。札を置くスペースがラインで引かれていたのですが、**ルールの変更**で、その**範囲が無視**されることになりました。おかげ



でダイナミックなカルタ取りとなり、楽しさは**倍増**したように見えました。札を読んだり、子供たちに支持したりする先生たちの**声**がかれないか、心配になりました。

1階の渡り廊下には、持ち主が見つからない落とし物が並べられました。**100個**ほどの落とし物が、テーブルに置かれています。サッカーボール、グローブ、トレーナーなどなど、買ってもらった時には持ち主を**ときめかせた**であろう物がたくさんあります。数人が、朝から身に来ましたが、そう簡単に持ち主と出会うことはできません。一日でも早く持ち主が現れること、一つでも多くの落とし物が「**落とし物**」でなくなることを願っています。



3月16日(月) 奉仕・プレゼント・賞状

六年生が、卒業前の奉仕作業を行ってくれました。普段なかなか手が届かない場所をきれいに**掃除**してくれたり、**掲示物**をはがしたり、**物を運んで**くれたりしてくれました。「1年生～5年生のことを考えながら取り組んだ」「六年間お世話になったことへの**感謝の気持ち**で行った」「普段よりきれいになったので気持ちがよかった」など、**貢献**の思いを達成してくれたようです。



本日も、音楽室では担任の先生への感謝の会が行われていました。**六年生**でした。**合唱**のプレゼントと感謝の言葉がありました。「〇〇先生の**授業は、全部好き**でした、ありがとうございました」と、泣かせるようなことを言ってくれました。担任からの言葉もありました。「このクラスで**最後に歌う**ときに、この場にいることができよかったです」と、担任からも**感謝**の言葉がありました。



昨日の**入間市クロスカントリー大会**で優秀な成績を収めた子が、**2組**、校長室に報告に来てくれました。入賞したようで、メダルと賞状をもってきてくれました。その2組とは、いずれも**兄(姉)弟**です。一緒に練習したこと、家族が応援してくれたことなどなど、いろんなことを想像しました。地域での活躍の裏には、**様々なドラマ**もあっ



たはずです。ちょうど、別の用で校長室に来た子が「僕も出たんだよ」と、そっと教えてくれました。

3月15日（日）お祭り

久保稲荷神社のお祭りに顔を出しました。幼稚園の子や少年野球の子が登場して、お祭りを盛り上げていました。進行の方が「ただいま、大谷選手がホームランを打って、日本が同点に追いつきました」とWBCの経過を告げると、大きな拍手が起こりました。この時は、多くの日本人が勝利を信じて疑わなかったはずです。



3月14日（土）卒園式

近隣幼稚園の卒園式に参加してきました。本校に入学してくる子も10人以上いる幼稚園です。とても立派な態度で式が無事に終わりました。先生方や保護者の方々が涙する姿を見ると、こちら胸がいっぱいになってしまいます。園児の3年間の成長ぶりを一番実感しているのは、もしかしたら先生方かもしれません。



3月13日（金）授与式・感謝・放送

午前中は、向原中学校卒業証書授与式に参加しました。162人が義務教育を終えました。感動的でした。別れの言葉を3年生代表で行ったのは、本校の卒業生でした。保護者、職員、仲間、後輩に向けた感謝の言葉には、胸が熱くなりました。学校に戻ってくると、体育館で六年生が授与式の練習をしていました。扇小学校の卒業証書授与式でも感動をもらえると信じています。



音楽の最後の授業では、担任への感謝として音楽のプレゼントをしていました。担任やお世話になった先生が音楽室に入ると、司会が趣旨を説明してから会が始まりました。合唱を一曲、合奏を一曲、そして感謝の手紙を読んで予定



したプログラムが終わります。あるクラスでは、サプライズで、音楽担当への感謝の手紙がありました。一年間の終わりが、感謝で終わる。素敵なことです。

教頭が週末の給食中に放送している「ちょっと聞いてよ」も最後となりました。自身の好きな曲を、メッセージと共に送って、最終回が終わりました。すぐーるで感想を依頼したところ、20を越える声が集まってきました。

「最後にふさわしい曲だった」「いつも楽しみにしていた」「とてもいい曲だった」などなどの、嬉しい感想が集まりました。これも一つの区切りです。



3月12日（木）賞状・報告・学年

昼休みに、美術展と読書感想文の賞状を授与しました。県展で優秀な成績を収めた子には、校長室で私が授与しました。集まった5人の中には、六年生が3人いました。卒業証書授与式の練習をしている六年生だけあって、しっかりと手を伸ばし、右手左手と順に賞状を受け取りました。それを見ていた、三年生、二年生もまねをしてくれました。



ある一年生が朝、校長室に二人でやってきました。一人は付き添いです。賞状を3枚持って入ってきました。ある場所で行った縄跳びの大会で、金メダルを獲得したとのこと。学校外での活躍は、嬉しいものですが、なかなか情報が入ってきません。このように自分で報告に来てくれると、本当に感激するのです。この子は、きっと、沢山の金メダルを小学生のうちにとってくれるでしょう。



五時間目、校庭から普段あまり聞かれない元気な声が聞こえてきました。四年生が学年レクを行っていたのです。棒引きに続いて、綱引きが行われました。運動会と違って、練習試合のようなことはないのです。勝ったクラスの喜びは格別のようなのです。さっそく「すぐーる」にも感想が届きました。勝ち負けよりも、実行委員会が考えてくれたこの時間への感謝が綴られていて、私も嬉しくなりまし



た。素敵な時間だったと多くの子が書いていました。

3月11日（水）黙とう・作品・結晶

15年前に起きた東日本大震災を偲び、2時46分に黙とうを捧げました。低学年は下校している時刻なので、各クラスで学級指導をしました。二年生では「災害が来た時のためにどんな準備をしておくか」を学び合っていました。「ハンカチを持っている」「名札をつけておく」「すぐに行動する」「食糧を用意しておく」などなどの意見が出ていました。天災は忘れた頃に（忘れた所に）やってくると言います。準備や訓練を怠らないようにしたいです。

一年生の教室では、たくさんの作品が机の上に並んでいました。配ったり、先生からもらったりする子もいます。入学してからの作品を先生が保存しておいて、それを改めて見直しているようです。作品集を作るのかもしれませんが。何人かの子が、私にも見せてくれました。自慢してくれました。自分でつくった懐かしい作品に再会して感動している子もいました。

理科室では、五年生が食塩水の結晶を作っていました。顕微鏡でのぞき始めたグループからは歓声が聞こえてきました。近づく「校長先生も見てください」と声をかけてくれる子もいて、きれいな結晶を見せてもらいました。「わー、きれい！」で終わっては学習は終了です。ここからどんな「？」が生まれるか、子供たちの声を聴いていると、形や対称性、出来上がった過程への「問い」の声、いくつか聞こえてきました。



3月10日（火）調理・三色・校長室

おうぎ学級が月に一度の調理実習を行っていました。今回は「焼きうどん」を作りました。フライパンの上に野菜を乗せ、うどんを乗せ、炒めています。炒め係を交代して行っている班もあれば、野菜やうどんを追加する担当



の子もいます。出たごみを捨てたり、机の上を片付ける担当の子もいます。中には、ずっと隣で見守る担当の子もいました。それぞれが自分の役割を果たし、おいしい調理が出来上がりました。

五年生が理科で、「試験官の中を三色にする」活動をしていました。色は下から、青→黄色→オレンジになると成功することが、見ていてわかりました。ここに本時の本質があるようです。できあがった三色の試験官、何人もの子が自慢してくれました。とてもきれいです。「きれい！」で終わることなく「なぜなのか？」という「？」がここから生まれ、さらなる学びにつながっていました。

三年生が国語で、学校のお気に入りの場所を発表するようです。事前に「校長室にくる子がいる」と知らされていたので待っていると、十人近くの子がやってきました。中で写真を撮り終わった子に、選んでくれた理由を聞いてみました。「九九検定の思い出」「わり算検定の思い出」などの説明の中に「あったかくて落ち着くから」と言ってくれた子もいます。基本的には、私が落ち着いていられる時間にしか子供は入ってこないのです。こんな見方をしてくれたのでしょう。



3月 9日（月）守護神・心理・調査

暖かい日だっただけに、外体育で活動する姿をたくさん見ました。卒業を控えた六年生は、ハンドボールに取り組んでいます。サッカーと違い、全員が活動しやすいこの競技は、見ていても楽しいです。練習中、一番目をひいたのはゴールキーパーです。近くから思いっきり投げってくるシュートを止めたり、取ったり、はじき出したり。恐怖感と手の痛みで打撃つ、正にチームの守護神だと思います。

おうぎ学級では、ベースボール型のゲームに取り組んでいました。ある子が打席に立つと、守備が左半分に集まっていた。先生が近くで「あっちが空いてるよ」と声をかけると、守備陣もそっちの方に一斉に移動しました。今



度は、右半分ががら空きです。しかし、打者は**左へ打つ**ことを決めてしまったようで、打球は守備陣が集まった左へと飛んでいきました。スポーツの**心理**を垣間見た気がしました。

四年生の国語では、とても面白いことをしています。クラスの子に**アンケート**をとって、それを分析しているのです。グラフにしたり、文章でまとめたりするのが主な活動です。あるグループは、休日（午前中）の**過ごし方**を調査しました。勉強、習い事を抑えて堂々一位だったのは、子供たちの予想通り「**ゲーム・テレビ**」でした。どちらが多いのかも調べてもらいたいものです



3月 8日（日）郷土カルタ県大会

郷土カルタ県大会が、**上尾**で行われました。初めてこの会場に来ましたが、立派な施設で驚きました。会場には市町村の大会を勝ち上がってきた精鋭たちが、熱い戦いを繰り広げていました。「**やく札**」をとった時の歓声も、客席まで聞こえてくるほどでした。応援した扇っ子は、個人戦で6位。立派な成績を収めてくれました。



3月 7日（土）あと・・・

朝からずっと校長室に籠って残務整理、丸つけ、HP、掲示物などなど。四月中旬を思わせるような気候だったので、つい体を動かしたくなり、校内を回ることにしました。カウントダウンカレンダーは、ついに「**10**」が登場。空き教室には、お別れ会やお楽しみ会の準備と思われる作品がいくつかありました。春、**別れの季節**。感慨深い掲示物にも、たくさん出会いました。



3月 6日（金）チェロ・立体・漢字

職員の家族に**チェリスト**がいます。せっかくなので、子

供たちに聴かせてあげようという発案から、**ヴィオラ**と**チェロ**のコンサートが実現しました。2, 3年生が参加しました。嬉しかったのは、演奏後にたくさんの**質問**が出たことです。「感動した!」「いい曲だった」にとどまらず、「なんで表と裏の**木が違う**のか」「どうしてこういう**形**をしているのか」「**穴**は何のために開いているのか」などなど、質問が止まらなかったのです。「**問い**」を大事にした自走する子が育っていることを実感しました。



二年生が、棒とそれを結ぶ玉を使って立体を作りました。先生からの課題は立方体でした。しかし、それにとどまらず**三角錐**を作った子がいます。それを知った子も、当然のように、**三角形**で囲まれたこの立体づくりに**挑戦**し始めました。そんなに簡単にはできません。でも、友達ができたのだから、自分もと、容易にあきらめることはしませんでした。



六年生の国語では、「なぜ漢字や言葉を学ぶのか」を学び合っていました。教科書を見たり、自分の体験を思い出したりして、様々な意見が飛び出しました。「**大人の会話**についていけるように」「会話で**言葉選び**ができるから」「考えを**伝えやすい**ように」「文章を早く**理解**できるように」「ひらがなだけだと、かえって分かりづらい」などなど。この意見、**低学年**にも聞かせてあげたいと思いました。



3月 5日（木）作品・幼稚園・感動

朝、校長室に**三年生**が8人で訪ねてきました。ある子が作った作品を持っています。「**家で作ってみた**」と、自慢するために来てくれたのです。嬉しいのは、周りの友達も**一緒に喜んで**くれていること。折り紙で作ったパックが7つ。それを机に並べて説明を始めました。校長室を出ていく際には、その中の一つを、私に**プレゼント**してくれました。次の「**自走**」も楽しみにしています。



近隣の**幼稚園**の子たちが、小学校見学にやってきました。一年生の教室で**一緒に算数**の勉強をしたり、校庭に出て一

年生の活動を見たり、**遊具**を見学したりしていきました。算数の勉強では、色板を使って形を作る活動をしました。一年生が**優しくヒント**を出したり、完成したらほめたりしてくれました。先輩に再開して、嬉しさのあまりその子に**抱きつく園児**もいました。



五年生が道徳で、**ピカソ**の障害から「感動」について学びました。「感動するとどんなよいことがあるのか」との導入の問いには、「伝えたくなる」「よく知ることができる」などの意見が出ました。授業の振り返りでは「ピカソは、感動したことを伝えたいと、作品を**作り続けた**のではないか」という記述がありました。感動が人を**突き動かす**ことを、少しでも理解してくれたようです。



3月 4日（水）色板・最後の書・会談

一年生の算数で、色板ならべをしていました。**三角形**の板を**5枚**使って、指定した**形**にする活動に取り組んでいる場面を見ました。完成した子はたくさんいましたが、どうやって並べたのか、**説明**するのが本来の課題のようです。5枚の三角形で出来上がった形（外側の線だけ）を見て「ここに**三角形**を置いた」「**ここにも**置いた」などなど学び合っている場面が、とても盛り上がりました。



あるクラスに入ると習字の時間でした。何気なく見ていたのですが、先生が「これが**今年の最後の字**になります」と教えてくれました。最後の書だけに、子供たちの気合も違っているようで、確かに緊張感あふれる空気が流れています。**五年生の令和7年度最後の習字作品は「考える子」**。他の学年の最後の書も、取材したいと思います。



六年生との会談も折り返し地点を過ぎました。今年は何どのグループにも同じ質問をすることになっています。毎回おもしろい話を聴かせてもらえます。「先生に**怒られた思い出**」で、この日聴かせてもらった話は、なぜか笑いが起きました。ある事件があり、当時の担任が**熱く**語りだした。進退をかけたような話だった。みんながそれを聴いて



泣き出した。「そんなこともあった」「そんな時もあった」と、盛り上がってしまいました。

3月 3日（火）探求・ライブ・三角形

六年生は、小学校最後の授業参観・懇談会。ずっと取り組んできた探求の発表を行いました。それぞれが関心を持っていたり、「問い」が生まれたことについて、ずっと取り組んできた成果を披露してくれました。「食品ロス」「感情」「虚数」「努力」「涙」「学校」「友達」「海」「宇宙」「野球」「サッカー」「じゃんけん」「戦争」「平和」「未来」「アレルギー」「筋肉」「平等」「健康」「方言」「血液」「音楽」などなどが取り上げられて、とってもおもしろい発表でした。感心してしまうような報告もありました。

器楽クラブが、20分休みに2Daysコンサートを開きました。音楽室には、100人を越える扇っ子や職員が集まってきました。開演前には、すごい熱気となりました。演奏はすばらしく、参加者も感動したと思います。緊張のあまり失敗したと言っていた子もいますが、演奏した子たちの表情からは達成感を感じました。明日も開催されます。もう一度、観に行ってみようと思います。

おうぎ学級では「三角形でひらめき」という活動をしていました。紙を長方形に切ってからたたみ、三角形を作ります。たくさんできた三角形を使って、何かを作っていくようです。すでに出来上がった三角形を、立てて重ねている子もいました。その三角形で輪飾りを作り始めた子もいます。教師の意図（全部切って、三角形が出来上がったから作品づくりをする）を、いい意味で裏切った活動がありました。自走する子、ここでも育っています。



3月 2日（月）卒業式・春作品・言葉

卒業式の練習が始まりました。座り方、起立・礼、呼名などなどについて、基本的なことの指導から始まります。



私は毎年同じ話をしています。「式」の意味です。儀式として、決められたことをそのとおりに行うようにと話しました。感動的だった、六年生を送る「会」とは違います。入間市立の公立小学校の卒業証書授与式です。加えて教室でも、日々の授業で練習ができることも伝えました。

四年生の教室に行くと、書写の時間でした。習字で、指定された字の練習をしています。黒板を見ると、素敵な作品が貼ってあります。早く終わった子のジャンプ課題だそうです。テーマは「春」。字だけではなく、絵も添えられています。立派な作品になっているのです。意外な子が意外な字を選んだり、意外な絵のセンスを発揮したりしていて、驚きました。

六年生が国語で、「大切にしたい言葉」を学び合っていました。卒業を控えた今、どんな言葉を大事にしたいかをそれぞれの子が書きだしました。「ありがとう」「努力」「勉強」「友だち」「自信」「達成感」「家族」「真摯な心」「感謝」「自分」などなど、それぞれの子が大切にしたい言葉を書いていました。大谷翔平の影響でしょうか、「睡眠」と書いた子もいます。大事にしてもらいたいです。



3月 1日(日) ゴール・担任

今日は朝から校長室。チャレンジ問題の丸つけ、HP更新、掲示物、講話朝会の構成、すぐーるで送られてくる感想等の点検などなど。今日から3月。あと一か月。落ち着いた生活で、年度のゴールを目指していきたいです。

私が担任をしていた時に、子供に渡したものを大切に保管して下さった保護者がいます。その方がそれを見せてくれました。今のようにデジカメで簡単に写真を撮ったり、アプリで加工することができなかった時代の制作物ですから、たいしたことはないのですが、大事にとっておいてもらったことが嬉しくて、つつい家でゆっくりと見て、楽しんでしまいました。

